

2024年9月4日

吹田市議会 議長 泉井 智弘 殿

陳情者

住 所

氏 名

大阪・関西万博への「児童・生徒の学校単位の招待事業」について

不安解消と再検討を求める意見書採択に関する陳情

大阪府教育委員会は、2025年大阪・関西万博への「児童・生徒招待事業」の意向調査を府下の全小・中・高・支援学校に行った。そして7月の臨時説明会では10月13日より事業への参加の仮予約を始めると各市町村に伝えている。

人工島夢洲で予定されている大阪・関西万博は、以前から様々な課題と問題点が指摘されている。加えて学校行事の校外学習として約88万人の子どもたちを連れて行くことについては、保護者・教職員の間には多くの不安や危惧を抱かせ「見直し」を求める動きも報道されている。

メタンガス爆発事故の原因究明と抜本的対策は？ 有害汚染物質が染み出す恐れは？ 熱中症を防げるのか？ 災害時の避難施設は作らない？ 移動手段の確保は？ 開幕前の下見はできない？・・・など解決すべき課題が続き、不安の種は尽きない。そういう会場に「一定の強制力」を持って児

童・生徒を連れて行くことが妥当な教育行事といえるか。また保護者・教職員に種々の困惑をもたらすのではという危惧も抱かざるをえない。

残念ながら万博協会は万全の「安全・安心を確保」との情報を未だ提供しているとはいえ、府教委も事業の主催者としての責任ある行動を取っているとは思えない。このような状況で保護者・教職員の不安はつるばかりの中で、参加・不参加の判断を学校は迫られている。6 月市議会では吹田市長、教育委員会ともに「子どもたちの安全確保が第一、それが担保されたくうえで保護者の意向を確認し判断する」と答弁した。

よって本議会はその判断を進めるうえで、国及び大阪府に対して以下のことを要望する。

1. 能登半島地震の被災地復興を優先しつつ、2025 年大阪・関西万博への「児童・生徒の学校単位の招待事業」について不安解消を最大限図ること。
2. その具体的対策と実施状況の情報を、各市町村教委と保護者に速やかに提供すること。
3. 大阪府教育庁が計画する「2025 年日本国際博覧会児童・生徒招待事業」を中止も含めて再検討し、実施する場合は児童・生徒の安全確保を最優先し引率する教員等の負担軽減を図ること。

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

令和 6 年 9 月 日

吹 田 市 議 会